

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2018年第19週
(5月7日～5月13日)

- * 2018年5月16日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2018年4月)の疾患及び感染症豆知識「感染症対策-小児科の現場から」も掲載しています。

平成30(2018)年5月17日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

定点把握対象疾患 報告数 2018年19週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2018年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数			
		16週	17週	18週	19週					
小児科	RSウイルス感染症	90 0.34	74 0.28	41 0.16	33 0.13	263	264			
	咽頭結膜熱	64 0.24	100 0.38	68 0.27	116 0.44					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	788 2.98	909 3.50	357 1.41	907 3.45					
	感染性胃腸炎	1,715 6.50	1,777 6.83	840 3.32	1,812 6.89					
	水痘	84 0.32	71 0.27	58 0.23	121 0.46					
	手足口病	22 0.08	29 0.11	15 0.06	27 0.10					
	伝染性紅斑	64 0.24	101 0.39	72 0.28	99 0.38					
	突発性発しん	149 0.56	195 0.75	106 0.42	214 0.81					
	ヘルパンギーナ	1 0.00	5 0.02	8 0.03	6 0.02					
	流行性耳下腺炎	31 0.12	24 0.09	12 0.05	28 0.11					
	川崎病 ^{*1}	4 0.02	6 0.02	3 0.01	3 0.01					
	不明発しん症 ^{*1}	13 0.05	14 0.05	5 0.02	25 0.10					
	インフル エンザ	インフルエンザ ^{*2}	374 0.90	299 0.73	96 0.24			93 0.22	417	419
								1 0.03		
眼科	急性出血性結膜炎				1 0.03	38	39			
	流行性角結膜炎	20 0.53	22 0.58	11 0.30	36 0.95					
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}	2 0.08	1 0.04			24	25			
	無菌性髄膜炎				1 0.04					
	マイコプラズマ肺炎	1 0.04	1 0.04		2 0.08					
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1 0.04		2 0.08					
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}	8 0.32	6 0.24	6 0.24	7 0.29					
	インフルエンザ入院	7 0.28	5 0.20	3 0.12	2 0.08					

2018/5/16集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

* 百日咳は2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が増加しています。今後の動向に注意が必要です。
- ・ 感染性胃腸炎は一部の地域で報告数が増加しています。
- ・ 咽頭結膜熱は例年並みの発生状況ですが、一部の地域で報告数の増加がみられます。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2018年19週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	3	1	1	16				3			
6～11か月	14	19	3	153	6	4		61	2		
1歳	9	35	32	251	8	9	3	99			
2歳	3	24	43	167	6	7	13	24	2	4	
3歳	3	15	83	175	4	2	16	16			1
4歳	1	9	123	149	13	2	12	5		3	2
5歳		2	134	138	16		16	2	2	2	
6歳		1	137	117	13		9	3		5	
7歳		2	91	105	21	2	16			6	
8歳			71	89	12		4			1	
9歳			55	76	3		4	1		3	
10～14歳			84	177	14		4			4	
15～19歳			3	40	3						
20～29歳		8	47	159	2	1	2				
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	33	116	907	1,812	121	27	99	214	6	28	3
先週比	-8	48	550	972	63	12	27	108	-2	16	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	急性出血 性結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		1				1				
6～11か月	4			1					1	
1歳	6	2		2			1		1	
2歳	2	2		1					1	
3歳	4	5							1	
4歳	2	6							1	
5歳	1	5		3					1	
6歳		2							1	
7歳	1	3								
8歳	1									
9歳		1								
10～14歳	3	13								
15～19歳		11								
20～29歳	1	12	1	7						
30～39歳		11		8			1	1		
40～49歳		8		7				1		
50～59歳		5		1						
60～69歳		2		4						
70～79歳		2		2						
80歳以上		2								2
合計	25	93	1	36		1	2	2	7	2
先週比	20	-3	1	25		1	2	2	1	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2018年19週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田			1.00					0.33			
中央区		0.33	4.67	13.33	1.00	0.67		1.67			
みなと	0.17	0.17	2.50	4.00	0.17			0.33			
新宿区	0.25	1.13	2.00	4.00	0.25		0.13	0.25	0.13		0.13
文京		1.00	2.25	1.50	0.75			0.25			
台東	0.67	3.33	4.00	16.00	0.67		1.67	2.67		0.67	
墨田区	0.20	0.60	1.00	3.20	0.20		0.60	0.80			
江東区		0.33	2.33	11.33	0.11		0.33	1.00			
品川区	0.50	0.50	1.88	6.63	0.38			1.13		0.13	
目黒区			2.60	5.80	0.40	0.40	0.40	0.60		0.20	
大田区	0.38	1.15	4.08	7.77	0.77		0.23	0.62			
世田谷	0.06	0.69	3.69	8.06	0.31	0.13	0.44	1.00			
渋谷区	0.25		0.50	6.25	0.50	0.25	1.50	0.25			
中野区		0.17	5.33	6.00	0.50	0.17	0.33	1.67	0.17	0.33	
杉並		0.36	1.55	7.73	0.09		0.27	0.64		0.09	
池袋		0.20	0.60	2.60	0.40			0.20			
北区			1.86	3.86	0.14		0.57	0.86			
荒川区	1.00	0.25	6.25	11.75			0.75	1.75		0.25	
板橋区			2.00	2.10	0.40	0.10	0.10	0.60		0.10	
練馬区	0.31	0.08	4.77	6.54	0.62		0.31	0.62	0.08	0.15	
足立	0.15	0.54	2.08	8.31	0.23			0.77		0.08	
葛飾区		0.13	3.38	7.50		0.50		0.38	0.13	0.13	
江戸川	0.08	0.42	2.33	6.25	0.08	0.17	0.08	0.33		0.08	
八王子市	0.18	0.82	8.55	12.64	0.27	0.18	0.27	0.73	0.09	0.09	
町田市	0.13		5.88	8.75	0.75	0.25	0.13	1.50		0.13	
西多摩		0.13	4.00	4.00	0.13	0.13	0.13	0.50		0.13	
南多摩		0.44	3.67	4.89	0.33		0.67	0.44		0.67	
多摩立川		0.21	3.36	4.64	1.29	0.14	0.50	0.64		0.07	
多摩府中	0.05	0.24	3.10	7.10	0.95	0.10	0.71	1.19		0.10	0.05
多摩小平	0.07	0.80	6.47	10.07	0.47	0.20	1.20	1.33	0.07	0.13	0.07
島しょ			1.00		5.00			1.00			
東京都	0.13	0.44	3.45	6.89	0.46	0.10	0.38	0.81	0.02	0.11	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		0.25					0.50			
中央区		0.40		2.00						
みなと		0.11					1.00			
新宿区	0.38	0.17		2.00						0.50
文京		0.14		2.00						
台東										
墨田区	0.60	0.25							1.00	
江東区				2.00						
品川区		0.08								
目黒区										
大田区		0.14		1.00						
世田谷	0.06	0.36		2.00					2.00	
渋谷区				3.00						
中野区		0.20								
杉並	0.18	0.41							0.50	
池袋		0.38		1.00				2.00		
北区										
荒川区		0.29								
板橋区	0.10	0.06	0.50	0.50						
練馬区	0.15	0.10		1.00						
足立		0.20		1.50						
葛飾区	0.13	0.92								1.00
江戸川	0.08	0.21		0.50						
八王子市		0.22		2.50						
町田市	0.13	0.08								
西多摩		0.07				1.00				
南多摩	0.11	0.57								
多摩立川		0.10		1.00						
多摩府中	0.38	0.36		1.00						
多摩小平	0.07	0.26		0.50					0.50	
島しょ										

東京都	0.10	0.22	0.03	0.95		0.04	0.08	0.08	0.29	0.08
-----	------	------	------	------	--	------	------	------	------	------

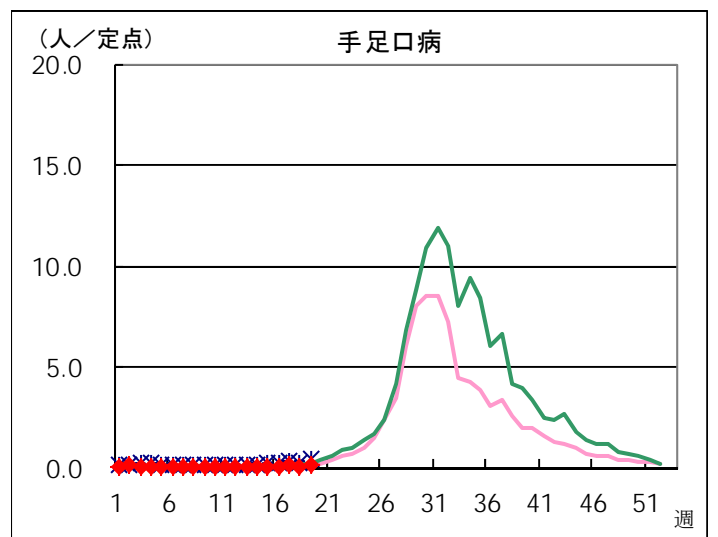
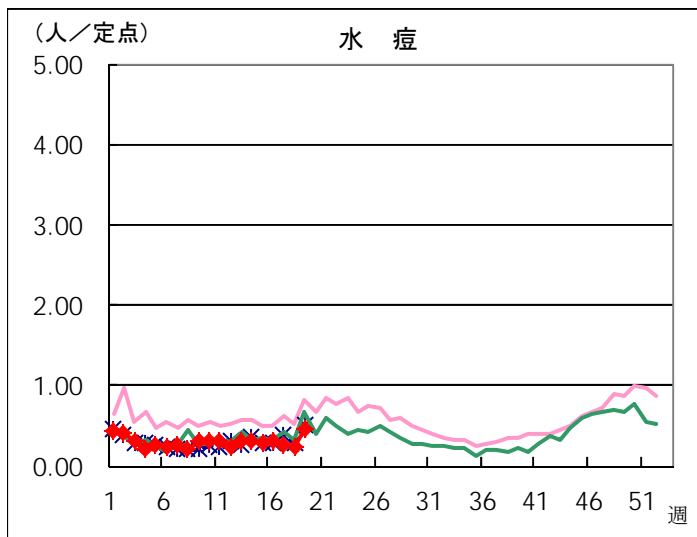
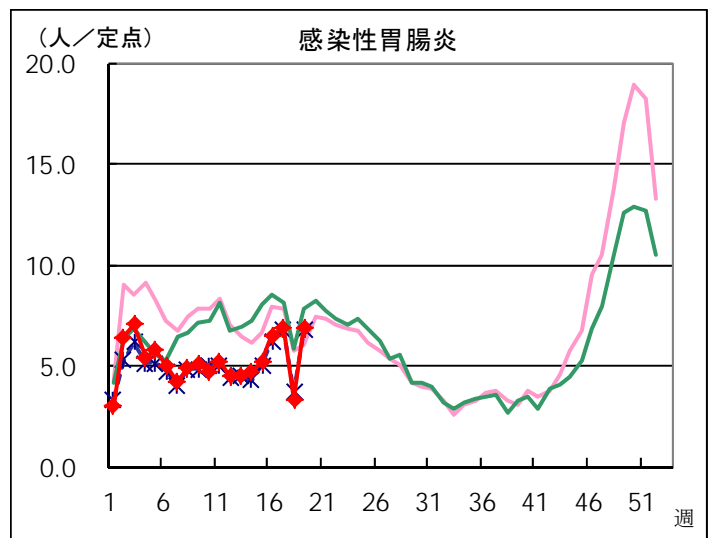
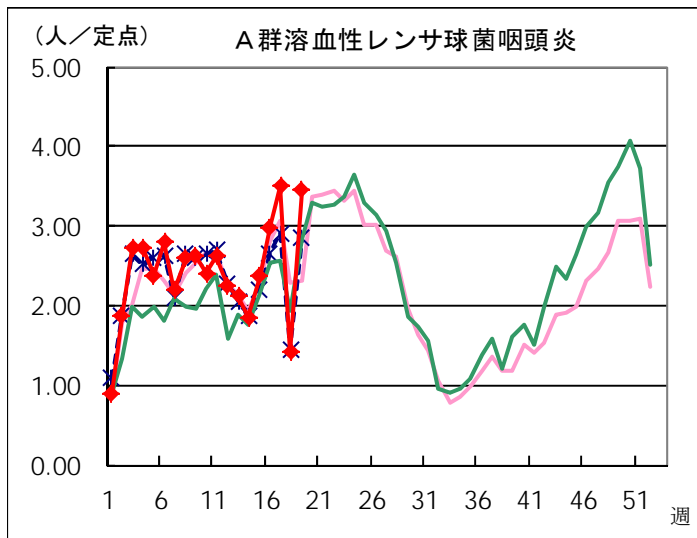
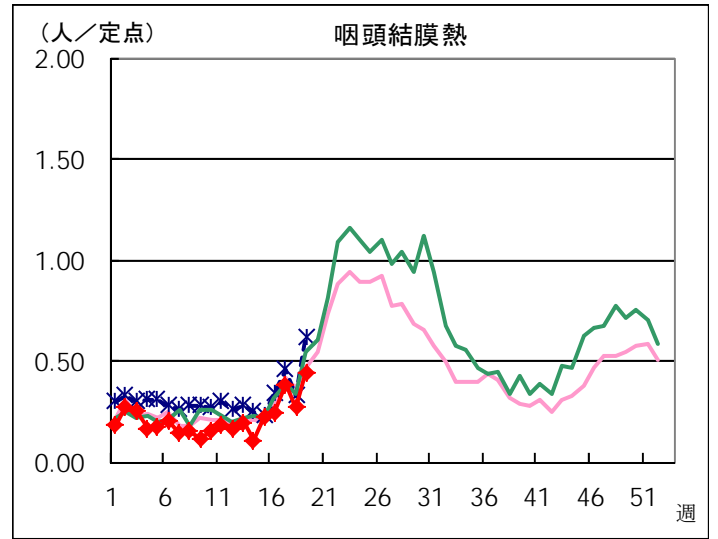
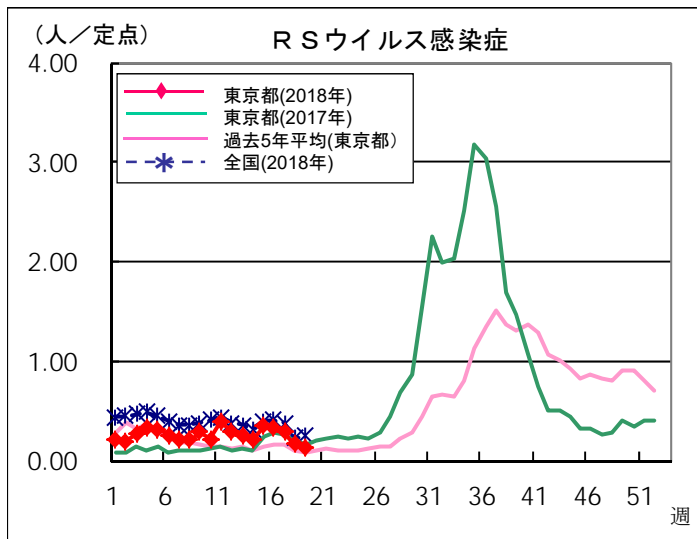
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2018年19週

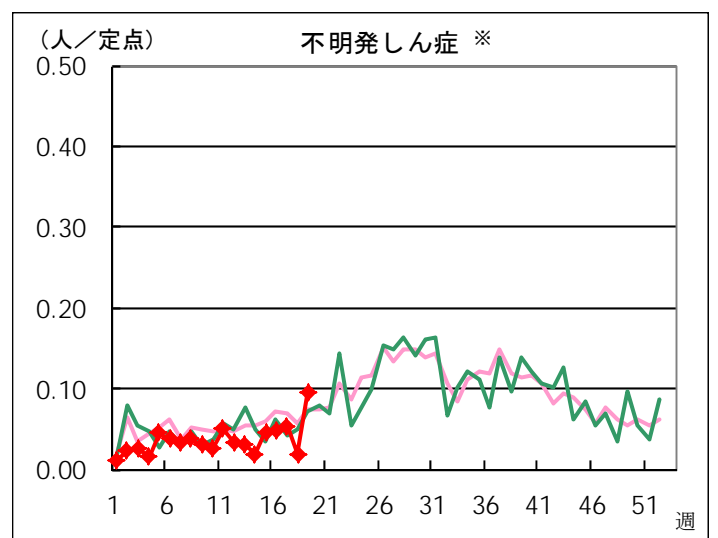
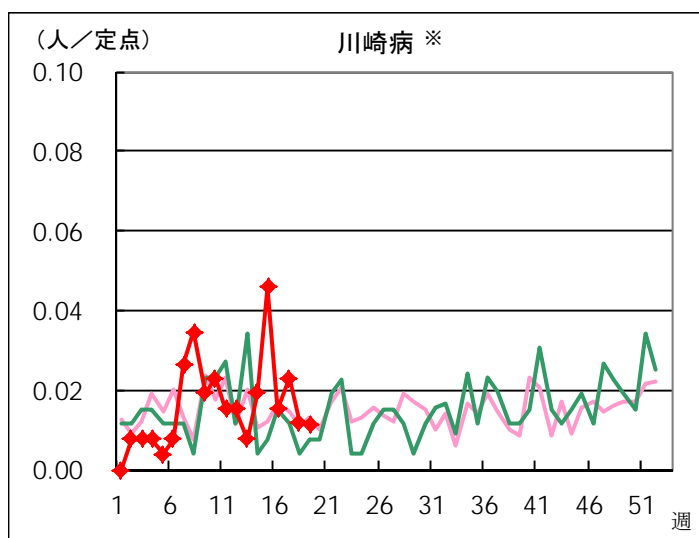
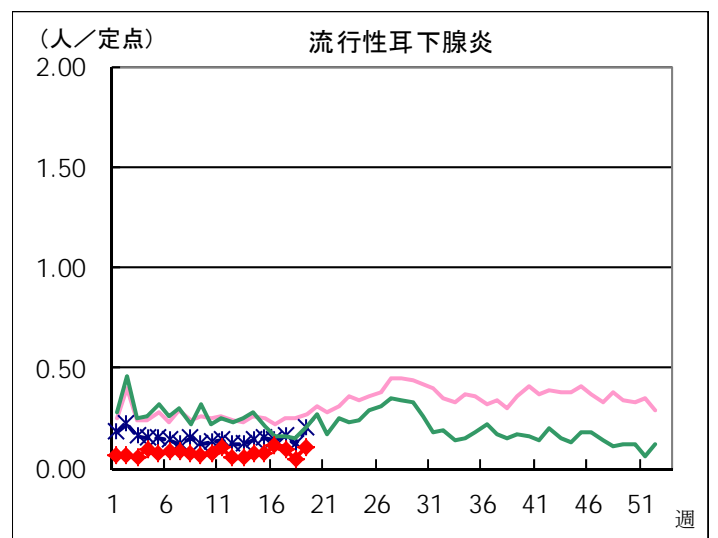
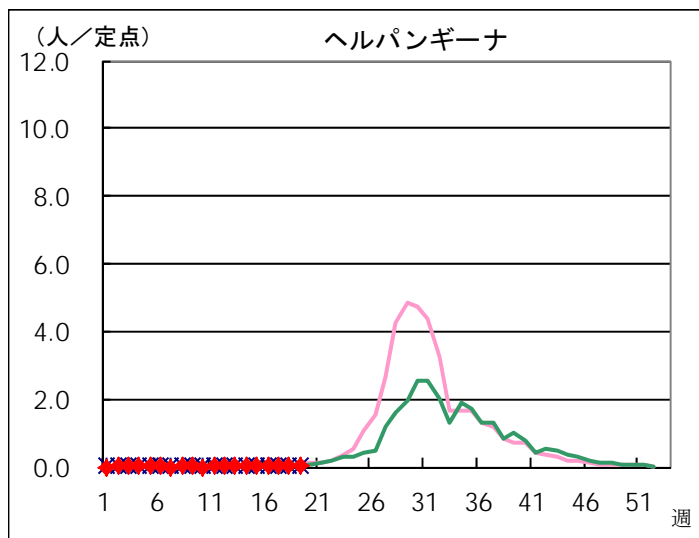
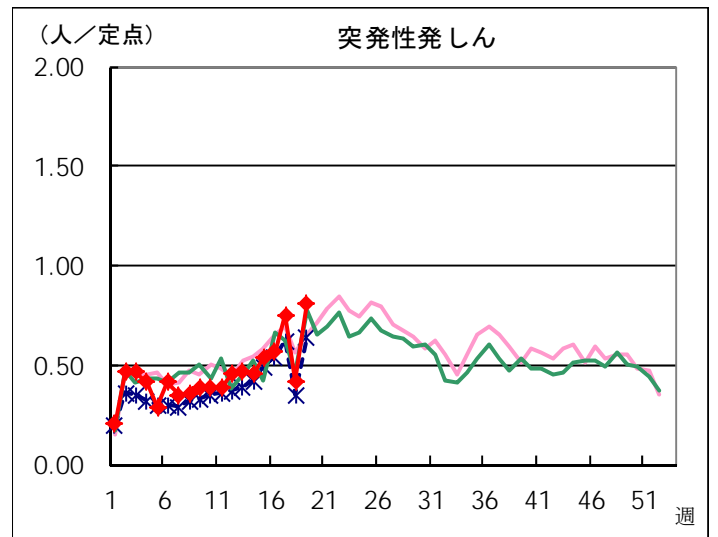
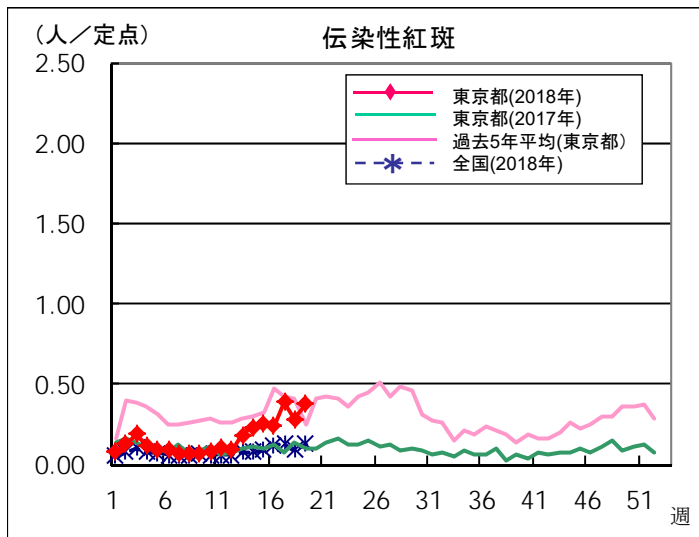
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田			3					1			
中央区		1	14	40	3	2		5			
みなと	1	1	15	24	1			2			
新宿区	2	9	16	32	2		1	2	1		1
文京		4	9	6	3			1			
台東	2	10	12	48	2		5	8		2	
墨田区	1	3	5	16	1		3	4			
江東区		3	21	102	1		3	9			
品川区	4	4	15	53	3			9		1	
目黒区			13	29	2	2	2	3		1	
大田区	5	15	53	101	10		3	8			
世田谷	1	11	59	129	5	2	7	16			
渋谷区	1		2	25	2	1	6	1			
中野区		1	32	36	3	1	2	10	1	2	
杉並		4	17	85	1		3	7		1	
池袋		1	3	13	2			1			
北区			13	27	1		4	6			
荒川区	4	1	25	47			3	7		1	
板橋区			20	21	4	1	1	6		1	
練馬区	4	1	62	85	8		4	8	1	2	
足立	2	7	27	108	3			10		1	
葛飾区		1	27	60		4		3	1	1	
江戸川	1	5	28	75	1	2	1	4		1	
八王子市	2	9	94	139	3	2	3	8	1	1	
町田市	1		47	70	6	2	1	12		1	
西多摩		1	32	32	1	1	1	4		1	
南多摩		4	33	44	3		6	4		6	
多摩立川		3	47	65	18	2	7	9		1	
多摩府中	1	5	65	149	20	2	15	25		2	1
多摩小平	1	12	97	151	7	3	18	20	1	2	1
島しょ			1		5			1			
東京都合計	33	116	907	1,812	121	27	99	214	6	28	3

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		1					1			
中央区		2		2						
みなと		1					1			
新宿区	3	2		2						1
文京		1		2						
台東										
墨田区	3	2							1	
江東区				2						
品川区		1								
目黒区										
大田区		3		2						
世田谷	1	9		4					4	
渋谷区				3						
中野区		2								
杉並	2	7							1	
池袋		3		1				2		
北区										
荒川区		2								
板橋区	1	1	1	1						
練馬区	2	2		2						
足立		4		3						
葛飾区	1	12								1
江戸川	1	4		1						
八王子市		4		5						
町田市	1	1								
西多摩		1				1				
南多摩	1	8								
多摩立川		2		2						
多摩府中	8	12		3						
多摩小平	1	6		1					1	
島しょ										
東京都合計	25	93	1	36		1	2	2	7	2

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2018年19週 現在)

◆ 小児科定点

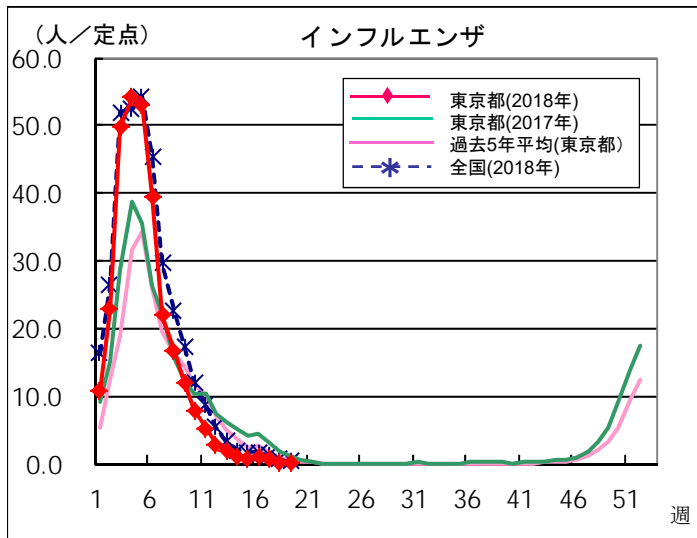




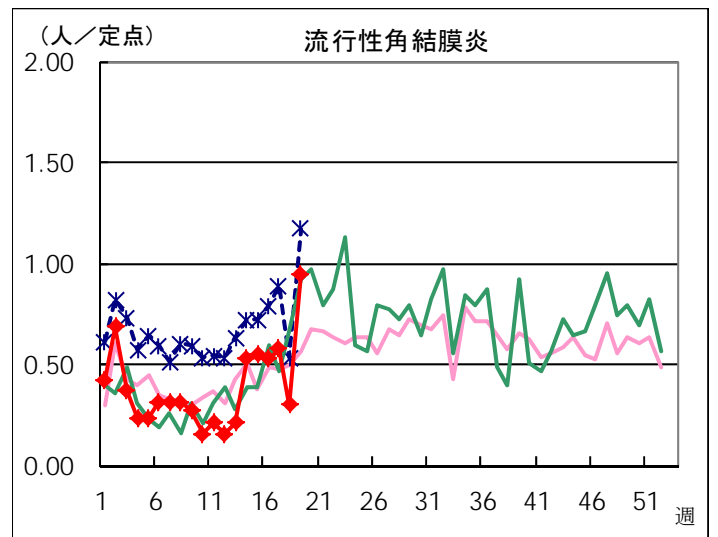
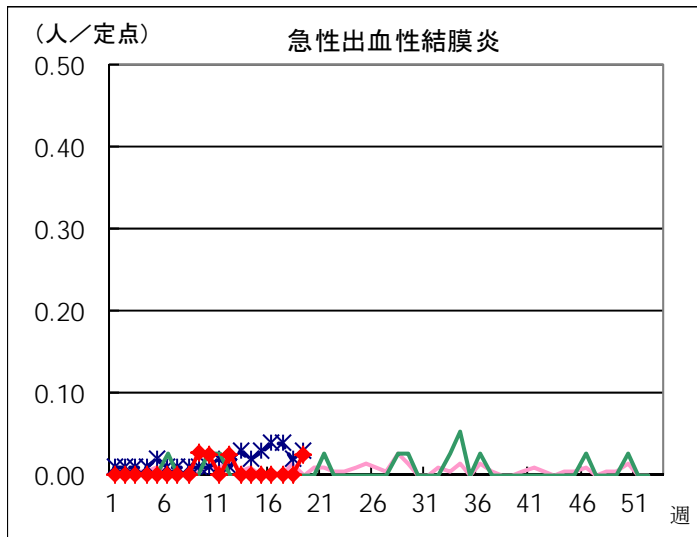
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

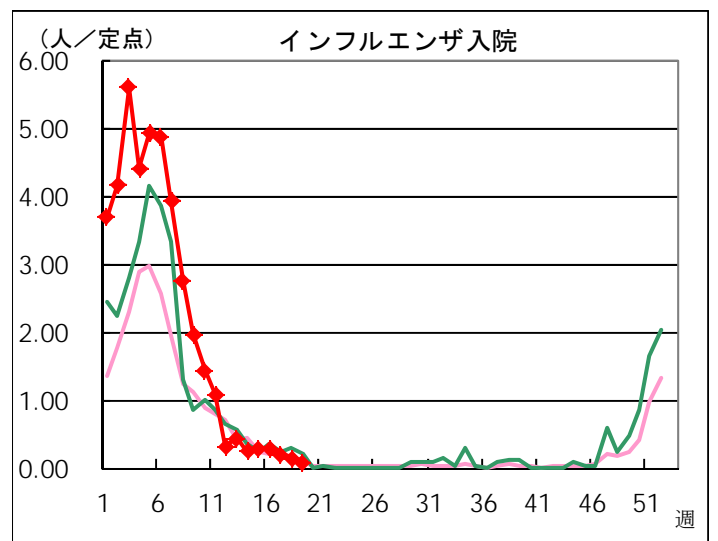
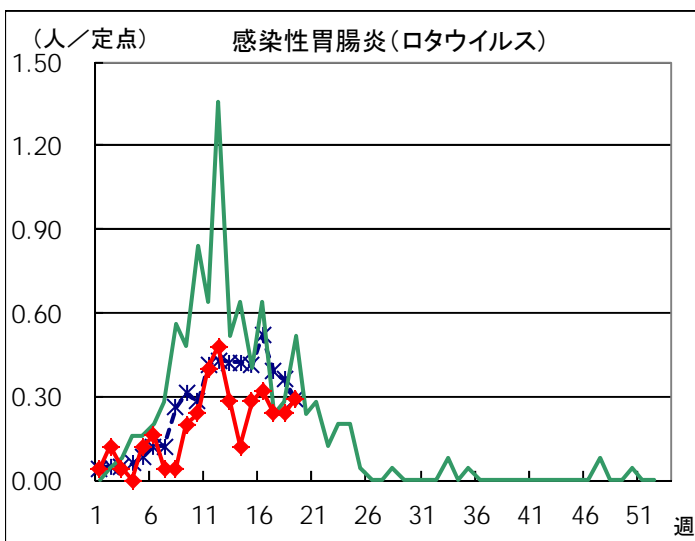
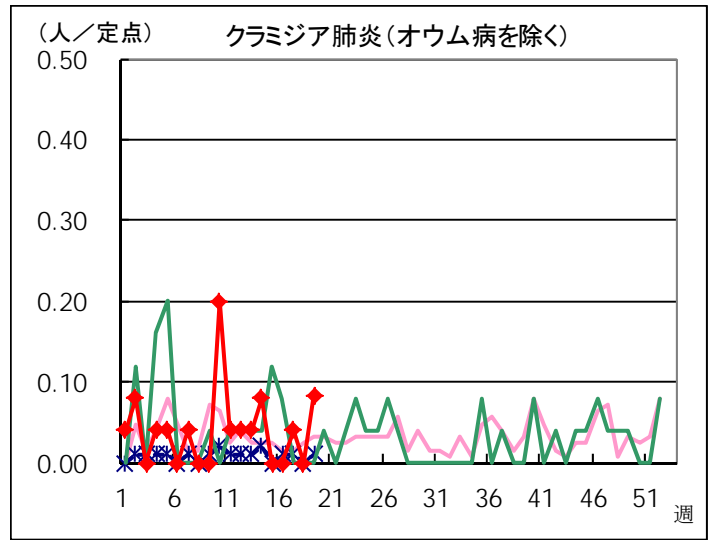
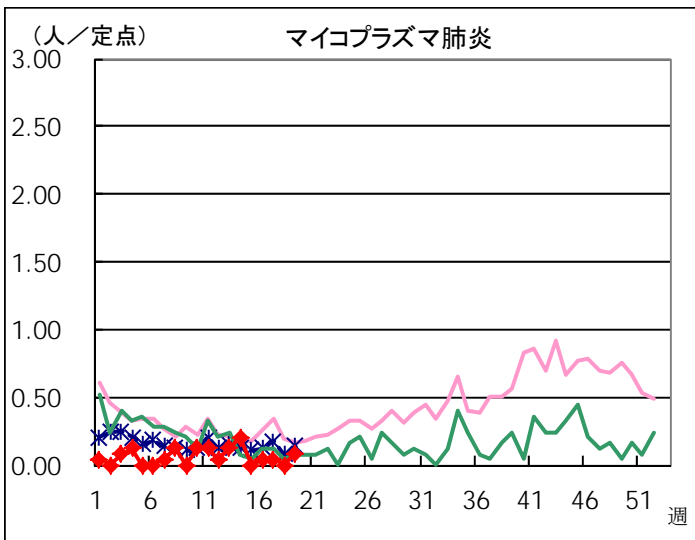
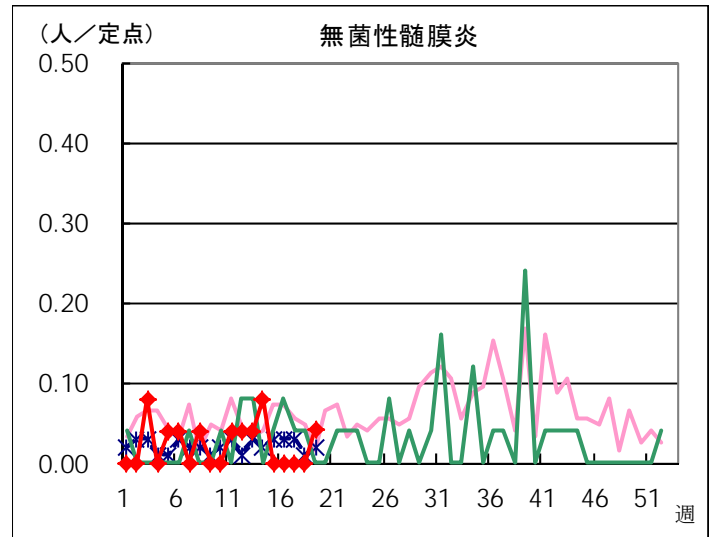
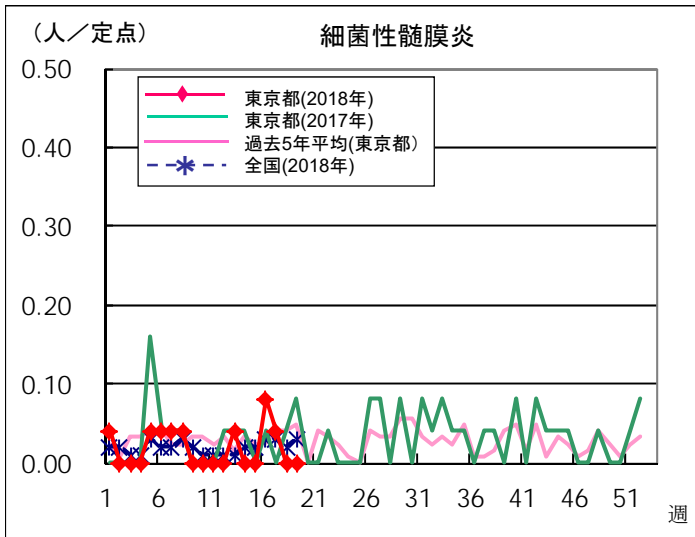
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
4/9	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルスA型
4/13	咽頭結膜熱	10M	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
4/17	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
4/17	不明発しん症	1	咽頭拭い液	風しんウイルス1a型 ライノウイルス
4/19	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルスB型
4/19	咽頭結膜熱	10M	咽頭拭い液	アデノウイルス6型
4/25	RSウイルス感染症	3	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
4/25	伝染性紅斑	7	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/27	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルスB型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2018年16週	2		3	
2017-2018年 シーズン累計*	109		179	254

* 2017-2018年シーズンの開始は第36週(2017年9月4日～)

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2018年4月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	112	2.04	199	3.62	55	55
		女	87	1.58				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	70	1.27	102	1.85		
		女	32	0.58				
	尖圭コンジローマ	男	74	1.35	109	1.98		
		女	35	0.64				
	淋菌感染症	男	74	1.35	101	1.84		
		女	27	0.49				
膣トリコモナス症	男			10	0.18			
	女	10	0.18					
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	39	1.56	55	2.20	25	25
		女	16	0.64				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	8	0.32	12	0.48		
		女	4	0.16				
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男	1	0.04	1	0.04		
		女						

2018/5/14集計

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】 2018年4月

< 男性 >

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症
0歳						4		
1～4歳						1	1	
5～9歳						3		
10～14歳								
15～19歳				1			1	
20～24歳	20	2	7	12				
25～29歳	28	6	15	17		2		
30～34歳	19	6	12	9		1	1	
35～39歳	12	15	12	9		1		
40～44歳	14	9	9	9		1	1	
45～49歳	8	9	5	9		3		1
50～54歳	6	7	9	3		2		
55～59歳	3	6	3	2		1		
60～64歳	1	2	2	1		5		
65～69歳	1	1		1		5	1	
70歳～		7		1		10	3	
合 計	112	70	74	74		39	8	1
先月比	9	-10	4	7			2	1

< 女性 >

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症
0歳						2		
1～4歳				1		1	1	
5～9歳				1			1	
10～14歳						1		
15～19歳	5	1	2					
20～24歳	27	7	13	5	3			
25～29歳	24	7	10	8	5	1		
30～34歳	15	5	7	2		1		
35～39歳	3	3	3	1				
40～44歳	6	4		2	1			
45～49歳	2	2		2		1		
50～54歳	3			3				
55～59歳	1			1				
60～64歳	1			1				
65～69歳		1			1		1	
70歳～		2				9	1	
合 計	87	32	35	27	10	16	4	
先月比	-6	-8	10	1	-3	-9	2	

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数 【保健所別】 2018年4月

＜男性＞

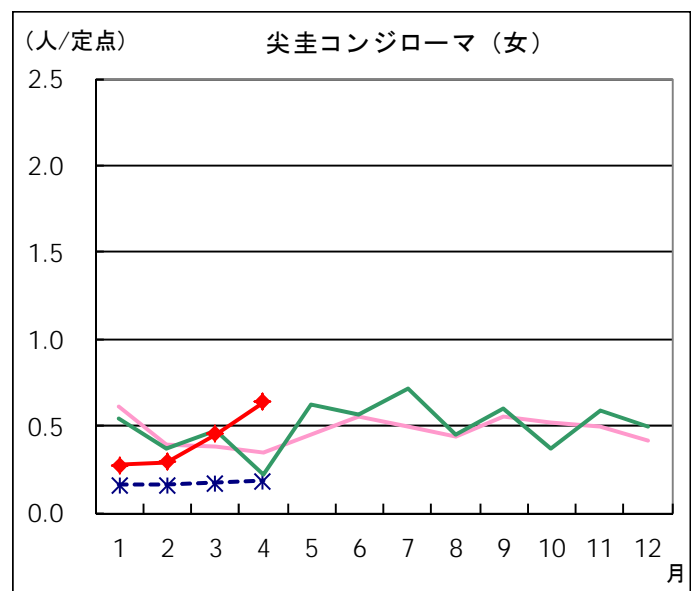
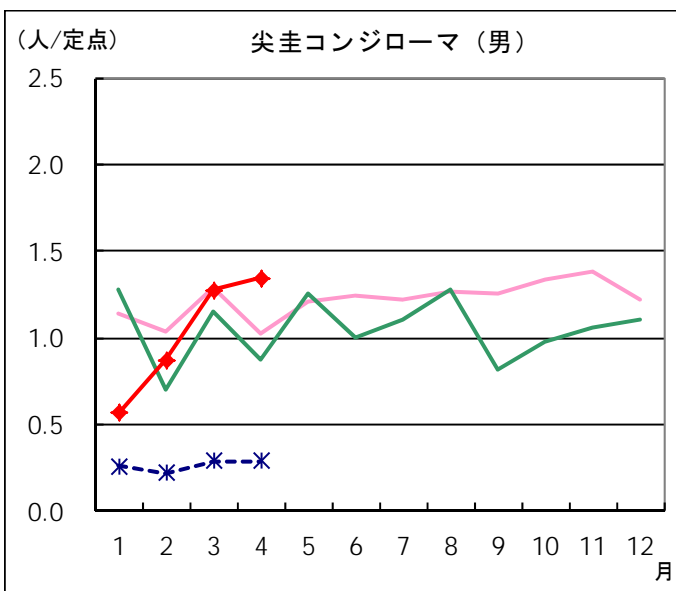
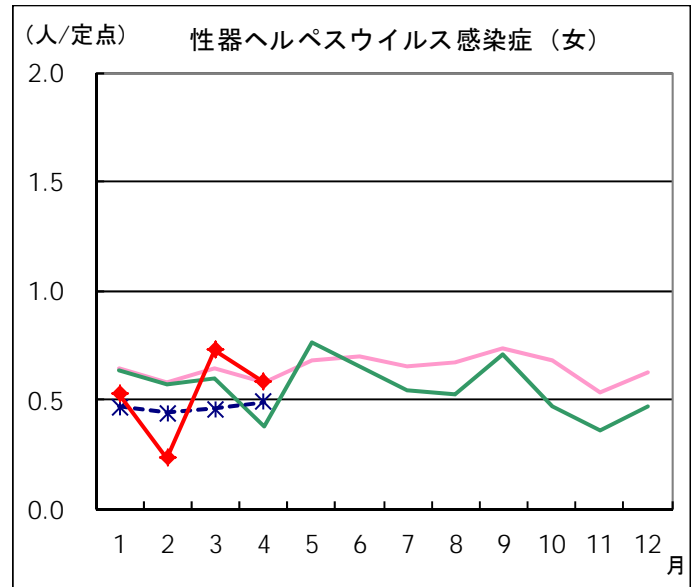
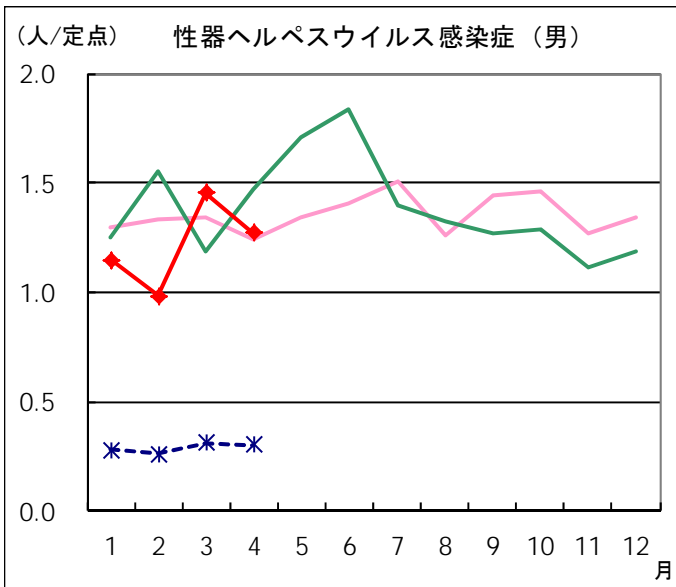
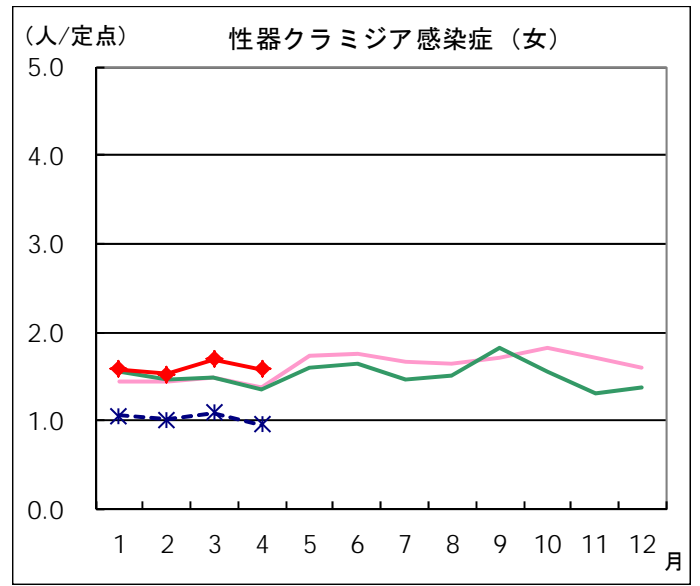
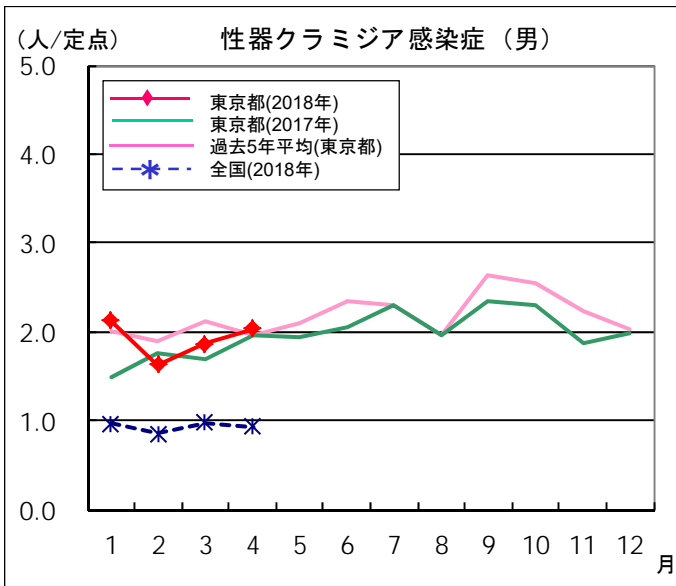
	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	臍トリコモナス症	総 計
千代田	2	16	1	3	11		31
中央区	3	8	4	2	3		17
みなと	2	11	38	10	3		62
新宿区	7	25	10	44	23		102
文京	1	3			2		5
台東	2	3			2		5
墨田区	2	1	1	2	1		5
江東区	2	7		3	6		16
品川区	1	3	1		5		9
大田区	2	2			1		3
渋谷区	5	12	10	5	4		31
中野区	2	2			2		4
杉並	2	4		1			5
池袋	3	9	5	2	8		24
北区	1			2			2
荒川区	1						
板橋区	2	2			2		4
足立	2	1					1
江戸川	2	2					2
八王子市	4						
町田市	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	1			1		2
多摩小平	1						
合 計	55	112	70	74	74		330
定点当たり		2.04	1.27	1.35	1.35		6.00

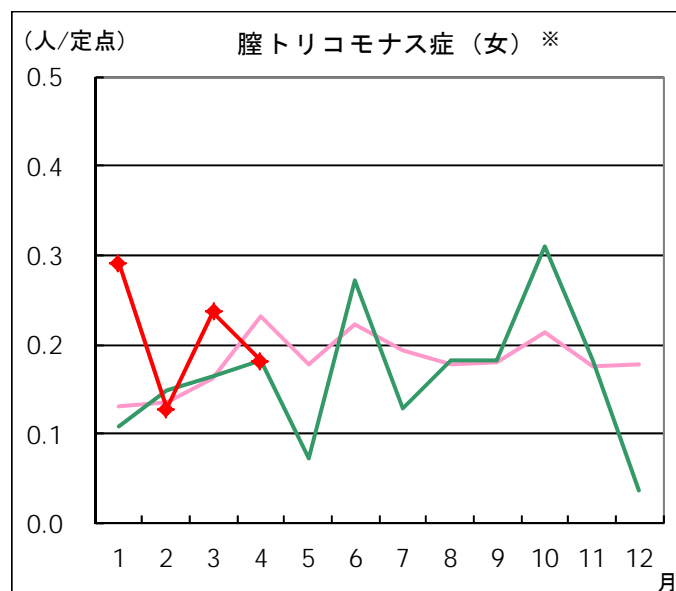
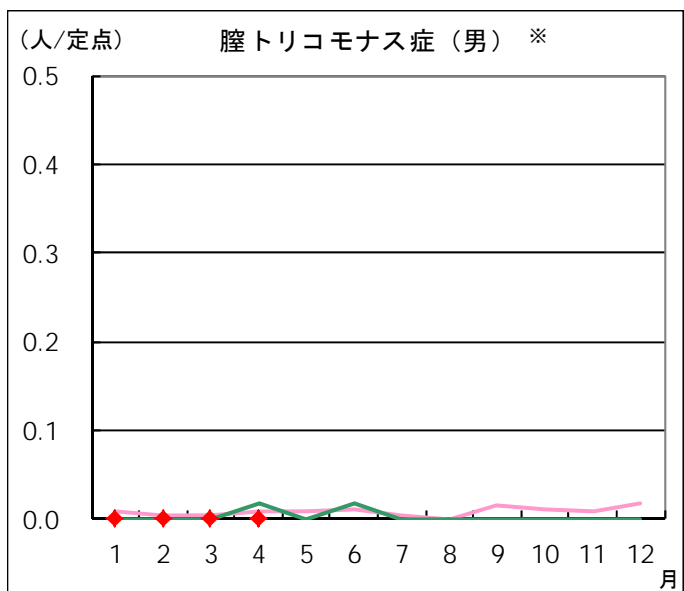
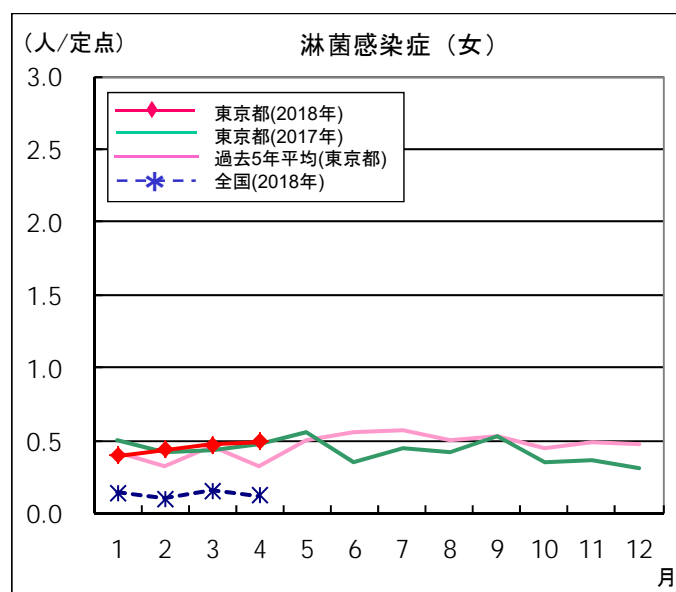
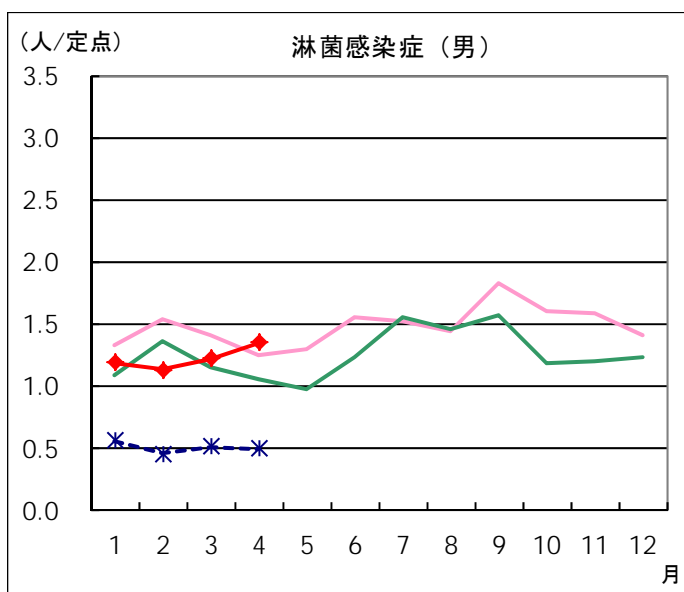
＜女性＞

	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	臍トリコモナス症	総 計
千代田	2	1					1
中央区	3	1		1			2
みなと	2	2	4				6
新宿区	7	11	5	27	3		46
文京	1						
台東	2	19			14	2	35
墨田区	2	3	1				4
江東区	2				1		1
品川区	1						
大田区	2	2					2
渋谷区	5	4	8	3			15
中野区	2						
杉並	2	1					1
池袋	3	5	4		4	3	16
北区	1						
荒川区	1	1	1				2
板橋区	2	1	3			1	5
足立	2	2			2	1	5
江戸川	2	12			1		13
八王子市	4	8	4	1	1	1	15
町田市	1	2	1	2		1	6
多摩立川	2	10	1	1	1	1	14
多摩府中	3						
多摩小平	1	2					2
合 計	55	87	32	35	27	10	191
定点当たり		1.58	0.58	0.64	0.49	0.18	3.47

月報告 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2018年4月 現在)

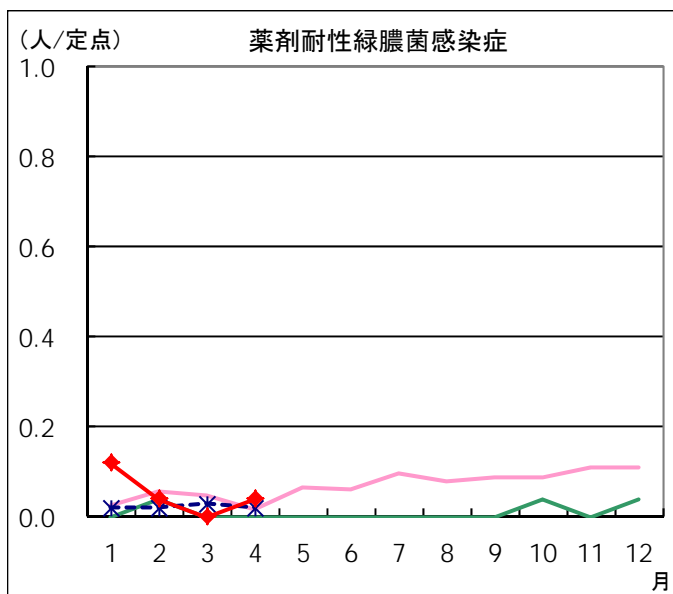
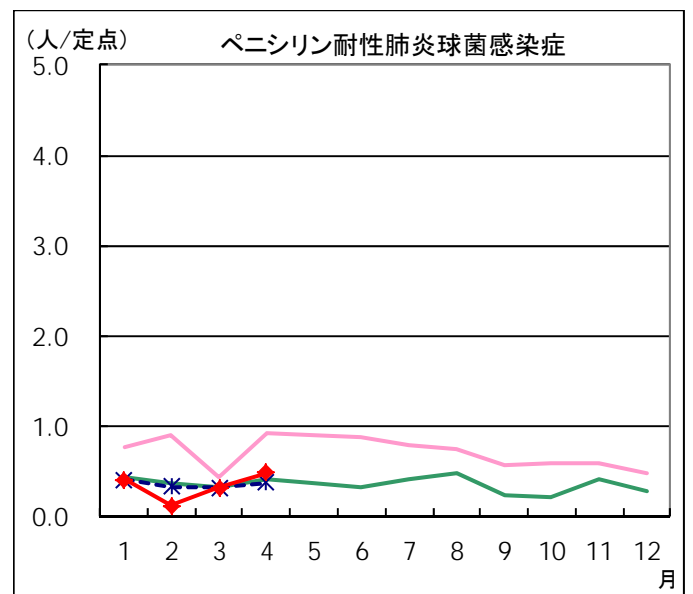
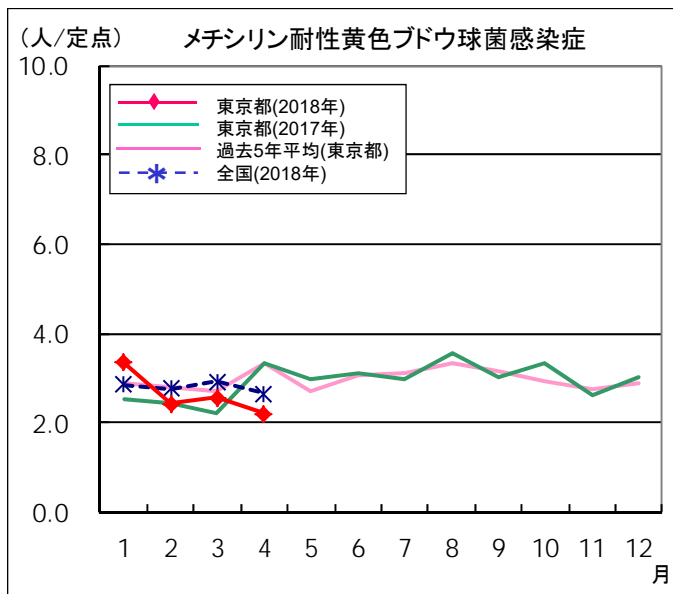
◆ 性感染症定点





※東京都独自対象疾患

◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報(月報告)

採取日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体
3/3	クラミジア感染症	33	男	尿	クラミジア・トラコマチス
3/3	クラミジア感染症	44	女	陰部擦過物	クラミジア・トラコマチス
3/9	クラミジア感染症	44	男	陰部擦過物	クラミジア・トラコマチス
3/12	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	82	男	血液	MRSAコアグラージェⅡ型
3/14	淋菌感染症	28	男	陰部擦過物	クラミジア・トラコマチス 淋菌
3/24	クラミジア感染症	24	女	陰部擦過物	クラミジア・トラコマチス
3/26	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	男	皮膚病巣	MRSAコアグラージェⅢ型
3/26	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	記載なし	気管吸引液	MRSAコアグラージェⅢ型
3/26	淋菌感染症	24	男	陰部擦過物	クラミジア・トラコマチス 淋菌
4/2	クラミジア感染症	31	男	陰部擦過物	淋菌
4/3	淋菌感染症	36	男	陰部擦過物	クラミジア・トラコマチス 淋菌
4/4	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	女	鼻腔	MRSAコアグラージェⅦ型
4/10	尖圭コンジローマ	30	男	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス6型
4/10	尖圭コンジローマ	41	男	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス11型
4/14	尖圭コンジローマ	38	男	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス6型
4/16	淋菌感染症	42	男	陰部擦過物	淋菌
4/18	クラミジア感染症	47	男	尿	淋菌
4/21	尖圭コンジローマ	52	男	コンジローマ 切除部位	ヒトパピローマウイルス11型
4/21	淋菌感染症	47	男	陰部擦過物	淋菌
4/23	クラミジア感染症	25	女	陰部擦過物	クラミジア・トラコマチス
4/24	尖圭コンジローマ	34	男	陰部擦過物	ヒトパピローマウイルス11型

<感染症豆知識>

感染症対策-小児科の現場から

小児科外来疾患の特徴は乳幼児の免疫が不十分で急性伝染性感染症が多いことである。また乳幼児は親に抱かれ、接触が濃厚で、好奇心が強くおもちゃ遊びを好み、待合室における院内感染（医療関連感染症）を生じやすい。

小児科診療所と病院では、その規模は違うが感染症対策に違いはない。

基本的な感染対策は標準予防策を遵守し、手指衛生、器具や環境の清浄化である。

昨年10月、米國小児科学会は、受診時は自宅から玩具や絵本を持参することを勧め、待合室のおもちゃや清潔を保てないぬいぐるみ等は好ましくないとした。咳やくしゃみが出そうになったら手ではなく肘で覆うように勧めている。手指衛生は感染経路を断つための最も重要な対策である。手指消毒用アルコール製剤による擦込式消毒、目に見える汚れがある場合は石鹸と流水による手洗いをを行う。

病原体別対策はCDC提唱の感染経路別予防策がある。すべての感染症を疾患毎に空気予防策（結核、水痘、麻疹など）、飛沫予防策（インフルエンザ、ムンプスなど）、飛沫・接触予防策（ロタウイルスやRSVなど）の必要性の有無を規定している。頻度の多い感染症の感染経路別予防策を熟知しておくことは大切である。

感受性対策として予防接種は最も勧奨すべき対策である。「罹る前に免疫を賦与し感染を防ぐ」ことは感染症予防対策の骨幹である。我が国では定期接種のワクチンが増え、欧米とのワクチンギャップはなくなりつつあるが、ムンプスやロタなどまだ任意であり、定期化が望まれる。ワクチンで回避できる感染症について、医療現場スタッフの既往歴を調べ適宜対応する。予防接種率を高めることが最大の感染症制御策である。

細菌感染症は抗菌薬の開発により激減したが、乱用により多剤耐性菌が増加し世界的な問題になっている。2016年の伊勢志摩サミットでは、2020年までに抗菌薬の使用を現在の2/3に減らす目標が掲げられた。日々の診療で狭域抗菌薬の使用、組織内濃度を考慮した適正量、数日間限定使用等の抗菌薬の適正使用を心掛けなければならない。

（文責 くろさわ子ども&内科クリニック(北多摩医師会 東京小児科医会) 黒澤サト子）